

2026年度 特定演習

教 員 名	大矢 奈美
演 習 テ ー マ	<p>労働経済・社会保障の分野を中心とした実証分析をテーマとする。</p> <p>具体的には、60歳以上の就労や労働移動、地域の労働力不足、不安定就業者に対する職業能力開発、単身高齢者の貧困問題などを取り上げる。</p> <p>また、これら実証分析は計量分析に限らず、記述統計の整理によるものも考えられる。</p> <p>これらの準備として、労働経済学および我が国の社会保障制度に関する基礎、記述統計を中心としたデータ分析の手法を学ぶ。</p>
演 習 内 容 ・ 方 法 等	<p>我が国の労働市場や社会保障制度等に関する文献の輪読をおこなった後、受講生の興味に沿って個別テーマを決め、それに関するデータの収集と加工を実習する。その過程で、データの分析手法を身につける。</p> <p>この分野は法や制度を知らずにデータ分析のみで研究しようとする、結果の解釈において重大な誤りを生じかねない。これを避けるための配慮についても考える。</p> <p>受講生は、ミクロ経済学特論、統計学特論、経済統計学特論、労働経済学特論、計量経済学特論、社会保障論特論を履修済み（これらに関する学部開講科目の履修もしくは聴講でも可）、少なくとも履修中であることが望ましい。</p>